情　報　教　育　計　画

１．ねらい

・コンピューターや情報通信ネットワークなど様々なの情報手段を適切に選択し、活用することができる能力やマナーを育成する。

２．発達段階に応じた情報機器の活用

低学年	遊び的な活動を通して触れ、親しませる。
中学年	問題解決のために必要な情報を得たり、表現したりするための道具の一つとして利用する。
高学年	得られた多くの情報から必要な情報を選択したり適切に処理して活用したりする。

３．情報教育の取り組み

（１）全学年で情報教育を実施し情報リテラシーを育成する

・１、２年・・２３時間（教科・調整時数の中で）

・３～６年・・３５時間（総合学習の中で）

（２）各学年の到達目標

学年	情報活用の実践力			情報社会へ参画する態度（情報モラル）
	情報の収集・判断	情報の加工・表現	情報の伝達･交流	
1	・友達の作品の良さに気づき、指摘することができる。	・お絵かきソフト等を使い、自分の作品を完成させることができる。	・自分の作品について、考えた点や工夫した点について説明できる。	・順番や約束を守り、正しくコンピュータを扱うことができる。
2	・友達の作品の良さを発見し、自分の作品作りに生かすことができる。	・お絵かきソフトを使って絵を描いたり、必要に応じて文字を入れたりできる。	・互いの作品を鑑賞し合い、それぞれの良さについて意見を出し合うことができる。	・コンピュータを活用する際のルールやマナーを知り、積極的に守ることができる。
3	・リンクを用いてインターネットにアクセスし、情報を集めることができる。	・絵や写真、文字などを組み合わせて作品を制作することができる。	・校内メールを用いて、自分の意見や考えを友達に伝えることができる。	・読み手のことを考えた正しい表現で情報を発信できる。
4	・検索サイトを用いて、必要な情報を集めることができる。 ・集めた情報の中から自分の必要とする内容を選択できる。	・ローマ字入力で文字を入力し、ワープロで文書をまとめることができる。 ・簡単な画像の加工ができる。	・電子メールを用いて意見の伝達や交流ができる。	・場に応じた表現方法を考え､情報を発信できる。 ・インターネット上には不正な情報が発信されていたりすることを知る。
5	・自分の必要とする情報を様々な方法で集めることができる。 ・書かれている内容を吟味し自分なりの言葉で再構成できる。	・目的に合わせ、画像や文字を効果的に加工したり、編集したりできる。	・電子メールや掲示板をを用いて意見交換や交流ができる。 ・簡単なプレゼンテーションデータを作成し、自分の考えを発表することができる。	・複数の情報を比較して情報の真偽を確かめようとする。 ・著作権の意味を知り、著作権を守ることができる。
6	・自分の目的に応じて必要な資料を収集し、自分なりの資料を作成することができる。	・見る側の視点に立った表現方法を工夫し、画像や文字を加工したり配列したりすることができる。	・作成したデータをHTML 形式で保存し、簡単な WEB ページを作成できる。 ・メディアの特性考えた効果的なプレゼンテーションができる。	・個人情報の大切さを知り、ネットワーク上のトラブルから身を守る方法について理解できる。 ・ネットワーク上のルールやエチケットについて理解し、守ることができる。

４．今年度の重点努力事項

（１）昨年度の課題を踏まえ、児童の情報活用能力をより一層高める。
（２）「情報の時間」の年間指導計画の見直しと効果的な指導のあり方を探る。
（３）新しいネットワークシステムの積極的な活用と円滑な運用を図る。
（４）校内における情報化をよりいっそう推進し、教師の資質や能力を高める。
（５）環境整備
・校内ならびに公式ホームページの更新、リンク集の拡充
・掲示物、指導用教具等の作成
・ソフト、ハードの補充・点検
・校内ネットワーク規模の拡大
（６）職員研修
・職員全員での実技研修会を開き、全体のリテラシー向上に努める。（場合によっては、専門の講師を招聘したり、教育センター等の施設を借りて実施する。）
・全体研修とは別に情報教育部独自の研修会を持ち、各学年への浸透を図る。
・情報発信におけるガイドラインについて共通理解を図る。
（７）先進的教育用ネットワークモデル地域事業の推進。（平成１１年度～平成１５年度まで）

テーマと重点課題

研究テーマ	ネットワークを活用した共同学習・交流学習のあり方を探る。
重点課題	（１）児童のコミュニケーション能力を高め、学校間交流や共同交流学習のあり方を探る。 （２）ビデオ・オン・デマンドの有効な活用方法を探る。 （３）情報モラルを育成し、望ましいインターネット活用のあり方を探る。

（留意点）
・情報教育部が中心となって計画を立案し、授業実践を重ねていく。
・年度末には実践報告をまとめ、教育センターに提出する。

５．主な年間スケジュール（案）

月	情　報　の　時　間	先　進　ネ　ッ　ト	職　員　研　修
4	・新規コンピュータの扱い方、コンピュータ室の利用の注意点について全学年指導する。		＜ネットワーク関係＞ ①新ネットワークシステムの運用にあたって ・システムの起動・終了 ・ログオン、パスワード ・ファイル転送 ・液晶プロジェクター ・ウイルス対策 ②校内 LAN の活用の仕方 ・ネットワークガイドライン ・各教室における LAN の活用 ・共有ファイルの活用 ・教務王 ・児童用データベースの活用 ・校内メール掲示板の活用 ＜学習指導関係＞ ・情報アドバイザーの活用 ・Web ページの作成 ・プレゼンテーション ＜その他＞ ・児童用データベースの入力・更新作業 ＜個別研修＞ ・画像処理 ・ＣＤ－Ｒの焼き方 ・デジカメの活用方法 ・CD-R の活用 ・ビデオ編集
5	・各学年指導計画に沿って授業を実施 （※２週間分の予定を提出） ・指導計画加除訂正	・研究テーマ設定 研究計画立案 （教育センター報告） ・授業実践	
6	・情報アドバイザー派遣 （～２月まで）		
9			
	・児童作品のまとめと Web アップ ・１学期評価		
10			
12			
	・児童作品のまとめと Web アップ	・研究のまとめ	
2	・２学期評価	・実践報告書作成 （教育センター報告）	